

なかつか 亮

2007年2月18日(日)
NO174 号外
区議控室 Tel 5742-6818
事務所 大井3-19-7-101
Tel 3773-3231

— 続報 —

西大井駅の「みどりの窓口」存続を

No. 2

「JR 3月中旬に廃止。再検討は考えてない」 突然の「みどりの窓口」廃止に、不安の声

前回のニュース（なかつか亮週刊区議会報告No.172）でお知らせした、JR西大井駅の「みどりの窓口」廃止に「本当ですか。困ります」という電話がありました。

突然の廃止に不安の声が広がっています。

どうして廃止？

JR東日本が「みどりの窓口」を廃止し、タッチパネル式の新型券売機に切り替える計画がわかり、駅利用者から「なぜ」「どうして」と声があがっています。私は2月7日、JR東日本に廃止の理由を聞くために電話。JR東日本東京支社広報係は「担当者が

不在で理由はお答えできません。後日、営業の者が電話します」と回答。その後、一週間が経過し、ようやく営業部の方から連絡がありました。「当社としては2月中旬に新しい券売機を稼働させ、3月中旬にはみどりの窓口を廃止とする考えに変更はありません」裏へ

タッチパネルは難しい

西大井4丁目 60代女性
「孫に会いに行く時、いつも窓口で切符を買っています。駅員の方は乗り換えの時間や場所など、親切に教えてくれるので助かります。タッチパネルでは困ってしまいます。スイカのチャージも大変なのに、タッチパネルで切符を買うのは正直、難しく、無理です」



今年3月中旬にも、廃止が計画されているJR西大井駅のみどりの窓口の様子。「乗客数は増えているのになぜ？」との声も。



「調整中」の張り紙がある新しい券売機。（2月7日撮影）高齢者にとってはこの操作が難しい。

駅バリアフリーについての、皆様のご意見をお聞かせ下さい。JRに対する意見もどうぞ。

だれもが、不便なく、

利用できる西大井駅に

駅バリアフリー化に逆行。

計画を中止し、住民との協議の場を。

JR東日本 廃止の理由

2月14日、JR東日本東京支社営業部の方から電話がありました。私は廃止の理由を聞きました。主な理由は次の3点です。

- ### みどりの窓口廃止の理由
- JR東日本東京支社営業部の方より
- ①ほとんどの切符が自動券売機で買えるようになったため。窓口でしか買えない切符は限られてきている。
 - ②すべての切符が自動改札機を使えるようになったため。（切符の裏が茶色に）
 - ③西大井駅は、みどりの窓口にお客様がいない時間が多いので。

私は「駅の利用者、や高齢者、障害者などを考えているのか。会社都合だけを優先しているのか」と質問。

JRは「会社都合だけではありません。お客さまにとっても、今までの窓口の営業時間は夜9時までだが、自動券売機の導入で、最終電車が来るまで切符を購入できるようになる。サービスの向上につながる」と話します。

隣の駅まで買いにいく、不便はある

私は「自動券売機では購入できない学割定期券はどうなるのか」と質問。JRは「近くですと大井町駅や品川駅の窓口を利用してください。その際の切符代は、駅員に言えばJRが負担します。隣の駅まで買いにいく不便さは、あるかと思いますが、駅の中のみどりの窓口を増やしているのでそちらを使って下さい」と説明しました。

パネルの使い方は駅員が説明

私は「タッチパネルの使い方がわからない人はどうするのか」と質問。JRは「そのときは駅員が説明します」と回答。しかし西大井駅の駅員は、窓口廃止後も2名体制。本当に使い方を説明できる余裕はあるのでしょうか。今でさえ「駅員はいつも忙しそうで大変。声をかけにくい」との指摘もあります。

私は「窓口廃止は困る。存続に向け、再検討を」と要望。JRは「周知の仕方は検討するが、窓口廃止を再検討する考えはない」と答えました。

窓口廃止は駅バリアフリーに逆行。突然の廃止計画は中止とし、住民との協議の場（説明会等）が必要だと思います。 なかつか亮